

活動名 親子で体験！五感で実感！大きな発見 ～宮島の自然と環境を楽しもう～	団体名	みやじま未来ミーティング												
	地域	広島県広島市												
	代表者	事務局 馬場田 真一												
	支援金額	25万円												
活動概要														
<p>みやじま未来ミーティングでは、宮島の自然を、守り・伝え・活用することを目的に、「環境学習プロジェクト」「海岸環境回復プロジェクト」「自然観察会指導者養成プロジェクト」に取り組んでいます。基幹事業として年間6つの事業を展開しています。この事業は、親子で参加していただき、子どもたちの興味や関心、好奇心のきっかけを保護者と共有することを狙いとし、自然観察や学習を通して、宮島を知り、楽しんでもらうことを目標に活動しています。各事業は小学生中・高学年をメインターゲットとして企画しており、ただの体験だけではなく、学習につながるよう力を入れています。</p> <p>また、体験、実習に関しては、スタッフは案内役となり、子どもたち主体で事業が展開されます。興味関心度合いによってペースや内容を臨機応変に変更し、「子どもたちが理解する」「できるようになる」を目指します。また、リピーター参加の子どもたちには、グループのリーダー役を促し、「自分の経験を伝える」「仲間を助ける」ということも経験してもらっています。</p> <p>◆実施時期 2011年1月中旬～2011年12月上旬 廿日市市宮島 包ヶ浦海岸・腰細浦海岸</p> <p>◆参加人数</p> <table border="0"> <tr> <td>・メダカの観察会</td> <td>19人</td> <td>・ホタルの観察会(雨天により中止)</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>・海辺の自然観察会①</td> <td>30人</td> <td>・海辺の自然観察会②</td> <td>24人</td> </tr> <tr> <td>・腰細浦海岸清掃4月</td> <td>48人</td> <td>・腰細浦海岸清掃12月(雨天により中止)</td> <td>0人</td> </tr> </table> <p>※スタッフ人数を除く</p> <p style="text-align: right;">参加総人員 121名</p>			・メダカの観察会	19人	・ホタルの観察会(雨天により中止)	0人	・海辺の自然観察会①	30人	・海辺の自然観察会②	24人	・腰細浦海岸清掃4月	48人	・腰細浦海岸清掃12月(雨天により中止)	0人
・メダカの観察会	19人	・ホタルの観察会(雨天により中止)	0人											
・海辺の自然観察会①	30人	・海辺の自然観察会②	24人											
・腰細浦海岸清掃4月	48人	・腰細浦海岸清掃12月(雨天により中止)	0人											



4月 ごみの計量の様子



5月 めだか釣りってできるの



7月 海辺の生きもの調べ



7月 海辺自然科学の実験教室 ヘドロで電池

◆実施に伴う効果

すべての事業において、ただ教えるだけではなく、「自分でやってみる」「五感で感じる」をテーマに事業を組み立て、実施してきた。普段の学校生活でも、友だちとのあそびではなかなか体験できないことに触れてもらい、経験という記憶と記録を残してもらったことは、これからの人生に何らかのプラスになるものと確信している。この点については、一緒にご参加いただいた保護者からのアンケートからも読み取る事ができ、これからも活動を続けてくださいと激励の言葉をいただいた。

HPの作成、活動情報発信に力を入れた結果、多くの方や企業から問い合わせをいただいた。「みやじま」というフィールドの知名度の後押しもあり、平成23年度は、2社と単発ではあるが協働イベントを実施するに至った。会の収入や広報などにも大きくかかわる協働実施については、今後の会の自立のことを視野にいれ、単発に終わらない、継続した協働の事業が実施できるよう工夫していきたい。

◆苦勞した点

- ・天候不順の場合の手当て
自然相手の事業のため、天候不順で流れた場合、次週へ順延などが難しい。準備物を無駄にしないためにも、何らかの解決策を検討していきたい。
- ・活動しているスタッフの固定化と新規育成と増強
なるべく経験の浅いスタッフに前に出してもらうようにし、熟練スタッフが上手く支援する形を確立したいと考えている。また、新規の会員募集にも力を入れていきたい。
- ・予算
島内の道路は細く、見通しも悪いため、助成金で船をチャーターしている。
基本的にはあるもので、集められる参加費で実施を考えているが、参加者やスタッフの安全面・効率・負担などを考えると、送迎費にどうしても費用がかかってしまう(フェリー代や船チャーター)現状がある。今後、参加規模の見直しなど検討していく必要が出てくる可能性がある。

◆今後の課題・発展の方向性

- ・スタッフの育成と、実戦経験強化
会員のなるべく多くのメンバーに、講師経験をつんでもらい、イベント運営できる体制を強化していく事が課題。
- ・事務機能の分散
全体の会計・事務と個別の事業の事務を分散させ、講師を中心に企画・準備・片付け・ふり返りが行えるようにしていきたい。
- ・会の収入
今後の独立を視野に入れた場合、どのような事業体と協働したり、どういった事業収入を考えるかなど検討が必要。また、一般企業とタイアップする場合、「法人」であるかないかについて問われた。それなりのお金の動きが発生する場合は、法人取得についても検討しなければならない。

◆活動を終えての感想・意見等

今年度も事故無く、多くの方に宮島を体感してもらう事ができました。
「百聞は一見にしかず、百見は1考にしかず 百考は1行にしかず」
インターネットで何でも調べられる時代ですが、実際に自分の目で見る、考える、やってみるというプロセスは人が大きくなる上で切っても切れないプロセス。MMMでは、多くの方に参加してもらい、参加して下さった方にどうしたらもっと楽しくなるか、上手になるかなど「考えてもらう・実際にやってみる」ことを伝え、今後にもひとつでも役に立ったと言ってもらえるような事業展開をこれからも続けていきます。